

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		簡易水道整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	上下水道課	担当者名	西本 尚弘
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	管理工務班	(内線)	1197
					法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	4
		90	21	1	1		コスト削減優先度評価結果	

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和37 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
簡易水道の配水管・配水施設等整備事業。

【業務の流れ】
簡易水道の配水管・配水施設等整備の設計事務、業者選定、契約事務、現場監督、竣工検査。
簡易水道の配水管の修繕に伴う修繕依頼、監督、修繕費積算、請求。
【主な予算費目】・建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	簡易水道の配水管・配水施設を整備した。	竹迫地区簡易水道事業変更認可申請
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	簡易水道配水管及び配水施設。 簡易水道使用者。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	簡易水道配水管及び配水施設を計画的に布設・設置出来る。 安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。	→ ア:簡易水道の配水施設数 箇所 イ:簡易水道の配水管布設工事延長 m
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	快適な生活環境で暮らすことができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
		→ ア:簡易水道使用者数 人
		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
		→ ア:水質、水圧に関する苦情件数及びその比率 件
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
		→ ア:水道普及率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	100,505	52,584	10,000	1,369	10,000	10,000	
		繰入金	千円	10,089						
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	110,594	52,584	10,000	1,369	10,000	10,000	0	
	うち指定経費	千円								
	ひら時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	5	4	7	4	4	
	延べ業務時間	時間	180	850	400	450	500	500	500	
(B) 人件費計	千円	715	3,383	1,592	1,791	1,990	1,990	1,990	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	111,309	55,967	11,592	3,160	11,990	11,990	11,990	0	
活動指標	箇所	4	4	4	4	4	4	4		
	m	3850	1654	1500	92	1500	1500	1500		
対象指標	人	5423	5424	5425		5427	5427	5427		
成果指標	件	10	5	8	7	6	6	6		
上位成果指標	%	96.8	96.9	96.9	96.9	96.9	97	97	97	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成9年度から水道を計画的に整備し清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
水道使用者数(給水件数)は平成18年3月31日現在(18, 155件)から平成20年3月31日現在(19, 155件)までの5年間で1, 000件増加して年々増加傾向にあり、それに伴い配水施設も増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞いていない。

事務事業名	簡易水道整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「簡易水道配水管及び配水施設を計画的に布設・設置出来る。安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。」ことにより、結果の「水道利用者に安全で良質な水道水を安定的に供給することが出来る。」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が水道事業を行わなければならない安全でおいしい水を安定的に供給することが出来なくなる。また、それに変わる事業者が無い為。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 普及率がほぼ100%に近い数値に達しているため、これ以上の向上余地はないと思われる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 配水施設が無くなれば、住民へ安全で良質な水道水を安定的に供給出来なくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 上水道との連携 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費は工事請負費、委託料であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 簡易水道の配水管・配水施設等整備の設計事務、業者選定、契約事務、現場監督、竣工検査、及び簡易水道の配水管の修繕に伴う修繕依頼、監督、修繕費積算、請求、以上の業務でありこれ以上の短縮余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 配水管を整備するすべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。上水道との連携。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	7	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)